

Information

World Health Summit Regional Meeting Asia, Kyoto 2015 のお知らせ

基調テーマ●Resilience(折れない力)を医療に — 医学アカデミアの社会的責任

World Health Summit(WHS)は、医学の名門ドイツのシャリテ大学が、創立 300 周年を記念し、日本を含む主要先進国に呼びかけ、2009 年に開始された国際会合で、以降、毎年 10 月にベルリンで開催されています。呼びかけに応じた世界の主要 8 医科大学が M8 Alliance(M8)を組織し、この M8 が中心となって WHS を運営しています(現在 17 機関が加盟)。また、2013 年から毎年 4 月に各国で Regional Meeting を開催し、2015 年は京都大学が主幹校に選定されました。

2015 年京都の Regional Meeting では、超高齢社会や自然災害に折れない医療や社会システムへの転換、それを支える次世代リーダーの育成、そしてこれらの課題解決への医学アカデミアの社会的責任、を主要トピックとして掲げています。世界最速で迎えた超高齢社会、東日本大震災・原発事故、などの困難な状況のなかで、日本がどのような創意工夫や仕組みで、国民の健康と医療を支えようとしているか、に世界は注目しています。世界の学産官、NGO などが一同に会し、これらを共通の課題として、議論を深めることをめざしております。

概要●

- 世界のトップリーダーによる基調講演: Ichiro Kawachi 教授 (Harvard 大学) 「Social Capital と Resilience」, 他
- 特別講演: 山海嘉之教授(筑波大学)「ロボットスーツ HAL の高齢社会における可能性(仮題)」
- 10 以上のセッション: Big data と医療, プライマリ・ケア, 医療技術評価, 健康を地域で支えるまちづくり, 災害に折れない医療システムへの転換, 社会的繋がりと健康, 未来リーダー人材育成, Global Health R & D, 他

会期●2015 年 4 月 13 日(月), 4 月 14 日(火)

会場●国立京都国際会館

主催●京都大学

共催●福島県立医科大学

会頭●湊 長博(京都大学副学長), 福原俊一(京都大学医学研究科社会健康医学系専攻長)

後援●文部科学省, 復興庁, 外務省, 厚生労働省, 経済産業省, 国土交通省, 第 29 回日本医学会総会 2015 関西, 日本プライマリ・ケア連合学会(順不同)

参加費●早期登録: 一般 18,000 円, 研究者 11,000 円, 学生 1,000 円(2014 年 12 月 31 日まで)

事前登録: 一般 20,000 円, 研究者 13,000 円, 学生 2,000 円

Web 登録: <http://www.worldhealthsummit.org/regional-meeting>

お問い合わせ●主催事務局

E-mail: WHSRM2015@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp